

教員コラム

『近くの山に登ってみよう』

准教授 尾崎 綾子

前職の幼稚園では、毎月のように園児と近くの山に登っていました。最初は、「しんどい」「もう歩けない」と言っていた四歳児でも、「一、二回登ると自信をもって」「山登りに行ってきます」と自ら進んで歩くようになります。

その魅力は、四季の自然の美しさや面白さが、まず挙げられます。また、一緒に歩く五歳児や友達、先生たちとの会話や励ましも一つです。そして、代々歌い繋いでいる山の歌があり、歌詞の中には、山のポイント『トトロの橋』『恐竜広場』等が登場します。「次はどんぐり広場だよ」と声を掛け合うのも楽しみの一つです。

そして、一番のおすすめは山上から見える眺めです。神戸から大阪までの街並み・海・山・ビル群…等見晴らしのよい場所に立ち、心地よい風が吹くと、思わず「ヤッホー」と言ってしまうくらい爽快感が味わえます。



データサイエンス授業紹介①

准教授 森井 裕史
准教授 藤原 牧子

令和五年度、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。

令和六年度は、次の段階「認定教育プログラム（リテラシーレベル）プラス」に向けてデジタル技術の活用を通して、生活やビジネスを革新するDX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成を目指して取り組んでいます。その第一回目として、六月十二日「IT技術I」の授業において、システムコンサルティング事業を展開する「株式会社ReAct」の代表取締役会長木村晋輔氏を講師にお招きし、社会においてどのようなようにIT技術が活用され、今後どのような展開を見せるかということについてご講義いただきました。

学生たちは、基礎的な知識やスキルを身につけ実践力を養うことが、どのように社会につながっていくのかを考えるよい機会となりました。今後は、デジタル技術の基礎知識やスキルの習得を目指していきます。

